

RESULTS OF FUNAKOSHI GICHIN CUP 2006 SENIOR COMPETITION DAY 2, 20TH AUGUST, 2006 SYDNEY



第10回船越義珍杯 世界空手道選手権大会

男子個人戦組手

尾方弘二、堂々の世界大会連覇

女子個人戦組手

高橋優子、全国の勢いそのまま、新女王に

男子個人戦形

栗原一晃、切れ味鋭い壮鎮で世界も制す

女子個人戦形

新垣美紗子、精度の高い雲手で世界初制覇

日本チーム、団体戦男女組手、

形を制し、全種目完全制覇

日時：2006年8月19日、20日
場所：オーストラリア、シドニー市
オリンピックパーク
主催：オーストラリア日本空手協会
主後援：NSW SPORTS & RECREATION,
オーストラリア外務省、
日本外務省、日本大使館、
オーストラリア政府YOEプログラム
写真協力：守礼堂

日豪交流年を記念し、第10回船越義珍杯世界空手道選手権大会がオーストラリア国、シドニー市オリピックパークにて開催された。

近代空手道の祖、社団法人日本空手協会最高師範、船越義珍先生の50周年を記念し、松涛杯から船越義珍杯に改称されての初開催となったこの大会、各国から伝統武道空手道を実践し、練磨した精鋭が集結、国の威信、名誉を賭け、2日間にわたり熱戦を繰り広げた。

男子個人戦組手

全国大会を制した志水亮介、前世界大会優勝の尾方弘二、前世界大会三位入賞の大隈広一郎、そして前世界大会で団体戦負け知らずの活躍が光った根本敬介の4名が参戦した男子個人戦組手の部、2日間に渡り激戦が繰り広げられた。

1日目 (19日)

各国の精鋭が集う個人戦、日本選手は緒戦



前南アチャンピオン・ゴードンロイフェと対戦する前王者尾方弘二、前蹴り、そして出会いの上段突きで技ありを連取、見事な試合運びで前大会に続き危なげなく準々決勝に進出した

から激戦を強いられることになった。

前世界大会王者の尾方弘二、2回戦で前南アフリカ王者、ゴードン・ロイフェと対戦した。ゴードン・ロイフェは団体戦の大將戦で池長敦志を退けた強者である。尾方は絶妙の前蹴り、そして上段突きの出会いで技ありを連取、難敵を退ける。尾方は今大会も攻守共にバランスが取れた王者の組手でベスト8に進出した。

志水亮介は前ヨーロッパチャンピオンのベルギー・DAVY BERNHEATと1回戦から対戦したこの試合、再々試合で中段回し蹴りを上段逆突きでカウンターを取り、技ありで勝利、接戦をものにした。また、志水は3回戦で南アフリカのエース、ヨハン・グランジェと3回戦で対戦、カウンター、そして先の先上段の刻み突きが冴えを見せ、併せて一本、強敵を退けベスト8に進出。

大隈も団体戦で南ア、ヨハン・グランジェに勝利するなど好調な仕上がりを見せ、上段突き・中段逆突きを効果的に使い、順調に勝ち進みベスト8に進出。



志水亮介は全日本で優勝し、世界大会でも準々決勝に進出



今回好調だった大隈広一郎

しかし初日のベストファイブは根本敬介と前大会二位のスウェーデンの雄、フェミクとの対戦である。フェミクは前大会、鋭い上段突き、上段蹴りで席巻した難敵である。

静かな立ち上がりとなったこの試合、スピードある上段突きで仕掛けるフェミクの技を冷静に見切る根本、再試合にもつれる展開となった。再試合でも積極的に仕掛けるフェミクが右の上段突きから左の上段回し蹴り、さらには右の中段前蹴りと怒涛の攻めに来るもことごとく捌き、さらにはフェミクの左の上段回し蹴りを捌いての左の上段突きを根本が極め、技ありを先制、さらには相手を自分の間合いに

引き込んで一気に中段逆突きで技あり、併せ一本の完勝で堂々のベスト8に進出した。日本選手は4名全員ベスト8に進出した。



初日の最高の見せ場を作った根本敬介、相手の蹴りを冷静に捌いての上段突き、そして相手を引き込んで一気にしなげ、フェミクの必死の上段突きをかいくぐり中段突きを見事に極め技あり、決勝に駒を進める

ブラジル旋風吹き荒れる！

2日目 (20日)

準々決勝第1試合尾方弘二とベルギー・DJAGO CARUSOの対戦。静かな立ち上がりとなったこの試合は再試合にもつれる展開となった。尾方は左の前蹴りを仕掛けるが出会いの上段突きで技ありを先行される苦しい展開となったが、尾方は慌てず、きっちり間合いを詰め上段への逆突きで技あり、タイに戻す。そして再々試合を中段逆突きで一気に勝負を決し、準決勝へ進出。



準々決勝第1試合は再々試合にもつれる好試合となった。再試合、尾方は前蹴りで仕掛けたところを上段突きで出会いを極められ技ありを先行される苦しい展開になるも、持ち前の勝負強さで上段突きを極め1-1のイーブンに、再々試合では一気に中段逆突きで技あり、準決勝に駒を進めた



見事な一本で会場を大歓声で沸かせた根本敬介が準々決勝に進出

準々決勝第2試合大隈広一郎とブラジル・RAFAEL MOREIRAの対戦。ブラジルのRAFAEL MOREIRAはパワフルな組手でここまで一本勝ちを連発し、勝ち上がってきた。大隈は左の上段突きでカウンタートゥーと取り、技あり、しかしブラジル・RAFAEL MOREIRAもワン・ツールの上段突きで技ありを取り返す。1-1で再試合に。大隈は開始早々左の中段蹴りで仕掛けるもカウンターの逆突きで技ありを取られ、0-1の苦しい展開に。しかしここから大隈は反撃、中段逆突きで技ありを返し1-1に。そして終了ぎりぎりに乾坤一擲の中段突きで技あり2-1で勝利し、2大会連続準決勝へと進出した。



今大会、ブラジル旋風が吹き荒れた。大隈と対戦したRAFAEL MOREIRAもその一人、初日も怒涛のパワー組手で快進撃、準々決勝に駒を進めた大隈と再々試合にもつれる好勝負を演じるも惜敗した

準決勝第3試合、難敵、フェミクに勝利し、ベスト8に進出した根本にアメリカ・ドミトリ・パバドゥパウロスが対戦、ドミトリは前大会もベスト8に進出した、堅実な組手を展開する好選手。再試合にもつれる緊迫した好試合をドミトリの中段突きを引き込み足払いからの突きで会場がどよめく見事な一本を極めた根本が勝利、ベスト8に進出した。



今回、最も優勝に近いのでは誰もが信じていた志水亮介、1-1のイーブンから町田のワンとツールの合間を志水の刻み突きがとらえたかに思われたが審判団は町田の2本目の上段突きに技ありのコール。惜しくも準々決勝で涙を吞んだ

準々決勝第3試合、志水亮介とブラジル・町田信三の対戦。町田は日本空手協会ブラジル国派遣師範町田嘉三先生の御子息である。ここまで力強い組手で勝ち上がってきた。町田はこの試合でも積極的に試合を仕掛ける。飛び込んでの中段突きで技ありを先行、力強い技でどんどん仕掛けてくる。志水も得意の上段裏打ちで技ありを取り返し1-1のタイに。しかし町田は取り返されても積極的に技を仕掛ける。そして最後には上段へのワンツールの逆突きで技あり、前日本王者の志水が準決勝前に姿を消す波乱含みの展開となった。



準決勝第2試合、若手らしい激しい展開となった根本敬介と町田信三の対戦互いに上段突きを極め1-1から町田が上段刻みつきで仕掛ける。根本が見切った上段突きを極めたかに見えたが、審判団は町田の突きに技ありの判定を下す。海外勢としてたど一入準決勝へ進出した町田信三が決勝に進出した



ベテラン同士の対戦となった準決勝第1試合、尾方弘二と大隈広一郎の対戦は、大隈を引き込んでの出足払いからの上段突きで技ありを極めた尾方弘二が勝者に、2大会連続の決勝進出となった大隈は前大会同様三位に終わる



日本代表・ベテランの尾方弘二、そしてブラジル代表・新進気鋭の町田信三が決勝に進出した。先制したのは尾方弘二、逆突き逆突きからの上段突きで技あり、そしてお互いの技が交錯したところを後の先の強烈な上段突きを叩き込み技あり合わせて一本を先取、町田信三も前蹴りから強烈な上段順突きを極め技あり、流れを引き込めるかと思われたが、尾方弘二が逆突き逆突きを極め技あり、終始主導権を握ったベテランらしい試合運びで3-1で勝利、前回の松涛杯に続き、船越義珍杯初の王者となった

両者共に力強い組手でここまで勝ち上がってきた。先行したのは町田だ。サウスボーに構えた根本に上段逆突きを極め技ありを先行、しかし根本も負けていない。プレッシャーをかけ、刻み突き誘って逆突き逆突きを極め1-1のタイに戻す。一進一退の好試合、町田が上段の刻み突きで仕掛ける。根本はその突き

を受け上段の逆突きを極める。審判団の判定が割れ、主審は町田の突きをコール。町田が決勝へと進出した。これまで磐石の組手で勝ちあがってきた日本代表・尾方弘二と力強い技と積極的な組手で接戦をものにしてきたブラジル代表・町田信三によって、船越義珍杯の名譽を賭け、決勝戦が行われた。

決勝戦まで慎重に試合を展開してきた尾方であったが、決勝は積極的に仕掛ける展開となった。逆突き逆突きから、町田の崩れたところを上段突きで技あり。そして町田が攻めてきたところを後の先の上段突きを叩き込み技あり。一本を先取した。町田は前蹴りからの上段突きで技ありを取り返すも尾方は攻撃の手を緩めず、逆突き逆突きで技あり。尾方は終始



左から準優勝・町田信三（ブラジル）、優勝・尾方弘二、三位根本敬介、大隈広一郎

主導権を握り、ここで時間切れ。3-1で尾方が勝利、2年前、東京での第9回松涛杯に続き、38歳のベテランが攻守共に円熟の組手を見せ、堂々の連覇、船越義珍杯を手中にした。

女子個人戦組手

初日

まさかの大波乱！前大会女王奥家沙都美緒戦敗退

今回、奥田優子、奥家沙都美、高橋優子、新井彩可の4名が参戦した女子個人戦組手、女子日本チームの実力は頭抜けているが、まさかの大波乱が初日起きた。前世界大会女王奥家沙都美がま



新井彩可

高橋優子

奥田優子

さかの緒戦敗退、トーナメントから姿を消すことになった。しかし、奥田、高橋、新井の3名は安定した強さで二日目、準々決勝に進出した。

地元オーストラリア勢大活躍！

2名が準決勝進出！！

安定した強さを誇る日本勢に外国勢がどう食い込むかという様相となった今大会、準々決勝で波乱が起こった。準々決勝第1試合、日本代表・新井彩可がオーストラリア代表・ストーム・ウイトレイにまさかの敗退、地元開催の歓声を受けストーム・ウイトレイが準決勝に進出した。準決勝第2試合アメリカ代表カッ



高橋優子が上段逆突きで仕掛けたのを奥田優子は同じく上段逆突きでカウンターを、審判団は高橋が早いと判断、僅千金の技ありを先取した



今大会も絶好調の高橋優子、相手の動きが良く見えていた。上段突きを立て続けに極め決勝に進出



準決勝第1試合1本目 2本目奥田は長身を利用して後の先の上段突きを立て続けに極め、決勝に進出



ミ・シノと日本代表の奥田優子の対戦。長身の奥田に対し、上段逆突きで出会いを狙うカッミ・シノだが後一步間合いを詰めきれない。奥田は軽やかなステップから上段踏み突き、そして突きからの上段回し蹴りを極め合わせて一本、今大会安定した強さで奥田が準決勝に進出。

空手衣に新しい波を ニューウェーブ

- 組手用空手衣
「無限」
「NW-1」
- 形用空手衣
「NW-2」
「NW-3」

スポンを立体的な新しい形の縫製にした為、足の動きがより自由になり、変幻自在の廣りに対応できる。
上衣育中の汗取り用あて布を特殊縫製する事により、発汗時の空手衣のまとわりつきを解消し、空手衣の形をきれいに保つ。
-特許第3604677号-



新フルンサポータ-(赤青)
(S-M-L) 価格各2,150円



全編小学生用フルンサポータ-
(S-M-L) 価格2,940円

守礼堂 本社

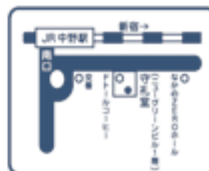
〒900-0012 沖縄県那覇市泊1丁目1番6号
TEL (098) 861-5621・FAX (098) 861-5525
FreeDial 0120-612341・FreeFax 0120-612342

守礼堂 東京支社

〒164-0001 東京都中野区中野2丁目23番1号
ニューグリーンビル1層103号
TEL (03) 5342-3051・FAX (03) 5342-3052

関西 守礼堂

〒536-0008 大阪府城東区箕目2丁目12番36号
TEL (06) 6931-8864・FAX (06) 6931-8863



(株) 守礼堂



左から準優勝奥田優子、優勝高橋優子、三位にストーム、ピアース（オーストラリア）が入賞した



先行された奥田は積極的に攻め、上段突きを、その攻めを高橋が冷静に見切り、引き込んでの後の先の上段突きで技あり、わせて一本、好調奥田を下し、全国大会に続き、船越義珍杯を手中にした

準々決勝第3試合高橋優子は相手の棄権のため不戦勝で準決勝に進出。準々決勝第1試合オーストラリア代表トレイシー・ピアースとスエーデン代表・ササ・ブランコウィッチの対戦は立て続けに中段突きを極めたトレイシー・ピアースが準決勝に進出、奥田、高橋、そして地元オーストラリアの2名が準決勝に進出した。

ア代表、ストーム・ウィトレイの対戦。奥田は今大会好調、落ち着いた組手で、相手の突きを見切り、後の先の上段突きを立て続けに極め合わせて一本、決勝に進出した。

準決勝第2試合、高橋優子とオーストラリア・トレイシー・ピアースの対戦。高橋優子は全国大会に続き今回も絶好調、切れのある上段突きを駆使し、ここまで勝ち上がってきた。この試合も相手の中段突きを冷静に見切り逆突き逆突き、そして中段突きを押し返しての上段突きであわせて一本、決勝に進出した。

決勝戦は2大会連続決勝進出、スピードの高橋優子、そしてパワーあふれる組手でここまで勝ち上がってきた奥田優子の対戦となった。対照的な組手の二人だが、今大会両者とも相手の動きが良く見えており、落ち着いた組手でここまで勝ち上がってきた。先制したのは高橋、今



予選の観空大でも最高点をマーク、そして決勝でも壮観で43.9をマーク、堂々の船越義珍杯王者に輝く



大会絶好調の上段突きで技あり、奥田も互いにもつれたところを上段突きで返すもKOしてしまい惜しくも反則。奥田も積極的に上段突きで攻めるも高橋が引き込んでの上段逆突きを極め2-0で勝負あり。高橋優子が全国、世界大会と連覇を達成した。

男子個人戦形

初日行われた予選では日本代表の今年の全日本王者栗原一晃、昨年の全日本王者小林邦雄、第8回松涛杯王者谷山卓也、そして、斉藤祐樹の4名が好演武を連発、4名全員が2日目の決勝へ進出した。4位には谷山卓也の壮観が、3位には斉藤祐樹の雲手、準優勝には重厚な演武を魅せた小林邦雄の五十四歩小が入賞した。そして栗原一晃が切れ味鋭い、スピード感のある

女子チームは今大会も絶好調、ベテラン平山裕子、全日本女王新垣美紗子、大島望、城田貴樹の4名が参加、危なげなく二日目決勝へと進出した。予選トップは新垣美紗子、抜群の燕飛で堂々の決勝進出となった。男子同様、女子日本代表も1位から4位までを独占、強さを見せ付けた。

女子個人形

壮観で観客を魅了、全国大会に続き、見事優勝に輝いた。5位には世界大会常連RAY TIOの雲手、6位にはエジプトMOSTAFA IBRAHIMの五十四歩小が、7位にはドイツDAVOR VRANYESの雲手、8位にはSTAN TIOの雲手が入賞した。



惜しくも4位入賞の谷山卓也、日本チーム主将として、団体戦相手にも参戦、重賞を果たした



三位入賞の斉藤祐樹の雲手、スピード、そして高い跳躍で観客を魅了した



準優勝に入賞した小林邦雄、重厚な五十四歩小を演武



急成長の城田貴樹の五十四歩小が三位入賞 大島望の岩鶴、全国に続き堂々の準備姿勢



ついに世界大会でも大輪の花を咲かせた新垣美紗子、全国大会2連覇、そして船越義珍杯を手中にした



ベテラン・平山裕子が抜塞小で4位入賞

4位にはベテラン・平山裕子が熟練の抜塞小を演武、三位には心境著しい城田貴樹の五十四歩小が、二位には正確な岩鶴の演武で大島望が、そして最後の演武者、新垣美紗子が登場。新垣は雲手を演武、その華麗な新垣の演武に会場は大拍手、会場を大いに沸かせ、全国大会に続き、ついに世界大会で頂上に輝いた。



初日の予選日本チーム（新垣美紗子、城田貴樹、東千春）は燕飛を演武、42・5の高得点で堂々の1位通過、二位にオーストラリア、エジプトが41・4で通過。日本チームは2位を大きく引き離しての通過となった。
2日目の決勝、日本チームは雲手を演武、このチームは前大会と変わらないメンバー。息の合った演武は43・2の高得点をマーク、他の追従を許さない正確な演武で前大会に続き優勝を成し遂げた。
2位にはオーストラリアとの同点決勝を制した南アが五十四歩小を演武、42・1（再試合42・3）三位にはオーストラリアの五十四歩小が42・1（再試合42・1）で入賞した。

女子団体形



空手衣のヒロタ

www.karategi-hirota.co.jp

**特別仕立て
組手用ピナック、型用 # 163
大好評発売中！！**

● 本社：
〒144-0052
東京都大田区
蒲田5-33-6NSビル1F
Tel: 03-3730-5366
Fax: 03-3730-5336
e-mail: tokyo@karategi-hirota.co.jp

● 福岡支店：
〒812-0018
福岡県福岡市博多区
住吉4-2-15
Tel: 092-475-1810
Fax: 092-475-1817
e-mail: fukuoka@karategi-hirota.co.jp

● 愛知工場：
〒445-0802
愛知県西尾市米津町
蓮台16-3
Tel: 0563-54-3600
Fax: 0563-54-5822

東京本社案内図



男子団体形

初日は予選が行われた。男子団体形には前世界大会からの不動のメンバー・産形弘二、斉藤祐樹、栗原一晃のチームで参加、予選を日本チームが形は観空小を演武、42・7で1位通過、二位にエジプト、そして南アフリカが41・5で続いた。

二日目の決勝、日本チームは雲手を演武、日本チームの息のあった演武に会場は大歓声を送る。43・0の高得点が読み上げられた時には大きなため息、そして大きな拍手でその優勝を讃えられた。二位に名手・ヨハン・グランジェを擁する南アが雲手を演武41・6、三位にはカナダが同じく雲手、41・5で入賞した。



女子団体戦組手

団体戦には奥家沙都美、高橋優子、新井彩可、藤原菜希の4名が参戦、怒涛の快進撃で初日全戦全勝で、1回戦ヴェネズエラ、2回戦イギリスを撃破、2日目の決勝に進出、準決勝の南アフリカ戦も先鋒藤原、中堅高橋、大将新井が圧倒的な実力差で勝利、決勝へと進出した。決勝戦地元開催で勢いに乗るオーストラリアと対戦、先鋒藤原が個人戦三位入賞のピアースをまったく寄せ付けず上段踏み突きで技ありを連取、日本は一気に波に乗り、中堅高橋も上段逆突きを続けざまに叩き込み併せて一本、日本の優勝を極める、しかし日本チームの勢いはまだ収まらない、大将新井が個人戦で敗退したオーストラリア・ストーム・ウイトレイを押し捲り、先の先の上段突き、出合いの上段突きで合わせて一本、個人戦の雪辱を見事に果たし、日本の完全優勝に花を添えた。



思いつきりの良い組手で日本チームに勢いを与えた藤原菜希



初日団体戦に参戦した奥家沙都美



団体戦全勝で日本の優勝に貢献した新井彩可



今大会、絶好調の高橋は全勝の活躍

男子団体戦組手

初出場杉山、切れる中段逆突き

男子団体戦組手は初日から強豪との対戦となった。1回戦はシードだったものの、世界大会上位入賞常連の、ベルギーと2回戦、そして南アとは3回戦で激突、日本チームに強豪が立ち上がった。2回戦対ベルギー戦日本は先鋒志



日本チーム主将としての重責を全うした谷山卓也



決勝戦、大将で出場した尾方弘二



準決勝、池長敦志が踏ん張り、決勝進出に繋げる活躍

水100で勝利、次鋒根本010、中堅大隈100で勝利、副将には今回世界大会初出場となる杉山俊輔が210で勝利、そして大将にはMr JKA谷山卓也が出場211で勝利と410



ベテランながら今大会も個人団体と参戦した大隈



団体戦MVPは杉山俊輔全勝で日本優勝に貢献



団体戦負けなし、実に団体、個人計10試合参戦の根本敬介



今大会、調子が悪いなりにチームに貢献した志水亮介

で難敵ベルギーを退けた。3回戦は南アフリカとの対戦、ここで貴重な1勝をあげた大将の谷山卓也を池長敦志と交代、先鋒志水が210で勝利、次鋒根本が111の引き分け、中堅大隈は南アの雄ヨハン・グランジェに210で勝利、副将杉山が210で勝利、大将池長が012で敗退、3勝1敗1引き分けで勝利、二日目に進出した。

準決勝の相手はデンマーク、デンマークは徹底して守りの組手を展開、先鋒志水、次鋒根本、中堅大隈が攻め手を欠き引き分け、副将杉山が値千金の110で勝利、大将戦も連れ込む苦しい展開に、大将池長は技ありを先行されるもきつちりと間合いを詰め、中段逆突きをきめ11のイーブンに、そして出合いの中段逆突きで勝利かと思われたが、審判団は弱いと判断、しかしデンマークの選手は昏倒、この突きがデンマーク選手の足を止め、時間切れの引き分けに、日本チームが1勝4引き分けという接戦をもの



団体戦入賞チーム左から準優勝アルゼンチン、優勝日本、三位デンマーク

にし、決勝へと進出した。

決勝戦、日本は大隈に換え、連覇を達成した王者尾方弘二を大将に投入、必勝の体制でアルゼンチン戦に臨む。アルゼンチンは名將井上光雄師範の下、純和風組手で勝ち上がった。前回の世界大会と同じ組み合わせだ。先鋒志水とアルゼンチン・JORGE RIVASの対戦でまさかの大幅乱、アルゼンチンJORGE RIVASの足払いからの中段突きで一本、会場は大歓声に包まれ、流れは一気にアルゼンチンに。次鋒戦根本敬介とアルゼンチン・DANIEL ACOSTAの対戦、アルゼンチン・DANIEL ACOSTAは根本の足払いで体勢が崩れ、根本がきめるかと思われた瞬間、藍払いの勢いを利用し反転して上段の後ろ回し蹴りに、これには根本もたまらず体勢を崩してします。技ありにはならなかったものの、会場は大いに沸き、盛り上がりは最高潮に。アルゼンチン・DANIEL ACOSTAが中段からの上段突きで先行、会場全体がアルゼンチンの勝利を信じるかのような、いやな雰囲気。しかしここからが根本の真骨頂、間合いをじりじりと詰め中段突きを立て続けに取り211で勝利、いやな流れを一気に断ち切った。中堅戦、日本・池長とアルゼンチン・ガストンの対戦は池長がきつちり引き分けにし、副将杉山に繋げる。副将戦杉山とアルゼンチン・クリスチャンの対戦は杉山が中段突き、そして足払いをはずしての上段突きを極め210で勝利、そして日本は王者尾方弘二、アルゼンチンはエース・クリスチャンの大将戦となった。尾方弘二は個人戦決勝から続けざまの出場、しかし、クリスチャンに対し、出合いの中段突き、引き込んだの上段突きを立て続けに極め合わせて一本、空手母国、日本の勝利を決定付ける勝利で、3勝1敗1引き分け、日本チームが有終の美を飾る、優勝を成し遂げた。

男子個人戦組手

- 1位..尾方弘二(日本)
- 2位..町田信三(ブラジル)
- 3位..根本敬介(日本)
- 3位..大隈広一郎(日本)

女子個人戦組手

- 1位..高橋優子(日本)
- 2位..奥田優子(日本)
- 3位..TRACY PEARCE(オーストラリア)
- 3位..STORM WHEATLEY(オーストラリア)

男子個人戦形

- 1位..栗原一晃(日本) 43・9
- 2位..小林邦雄(日本) 43・1
- 3位..斉藤祐樹(日本) 42・9

女子個人戦形

- 1位..新垣美紗子(日本) 43・0
- 2位..大島望(日本) 42・9
- 3位..城田貴樹(日本) 42・7

男子団体組手

- 1位..日本
- 2位..アルゼンチン
- 3位..デンマーク

女子団体組手

- 1位..日本
- 2位..オーストラリア
- 3位..南アフリカ

男子団体形

- 1位..日本 43・0
- 2位..南アフリカ 41・6
- 3位..カナダ 41・5

女子団体形

- 1位..日本 43・2
- 2位..南アフリカ 42・1 / 42・3
- 3位..オーストラリア 42・1 / 42・0

第10回船越義珍杯 少年世界空手道選手権大会



日時：2006年8月17日
 場所：オーストラリア、シドニー市オリンピックパーク
 主催：オーストラリア日本空手協会
 後援：NSW SPORTS & RECREATION、オーストラリア外務省、日本外務省、日本大使館、オーストラリア政府KOEプログラム

日本選手団、 怒涛の大活躍

日本空手協会、日本を代表する、少年少女選手団が、異国オーストラリアの地で、怒涛の快進撃、入賞ラッシュで日本選手団先陣を見事に飾る活躍を遂げた。

少年、少女にとっても海外の大きな選手は脅威である。しかし、不断の練習が身長差、体重差を撥ね返す活躍につながった。
 少年少女の活躍が一般大会の完全優勝に繋がったのである。



形・相手完全優勝を果たした秋山響子選手



海外の選手との体格差は歴然、しかし不断の練習で堂々と戦った日本選手団

SHOTO CUP RESULTS JUNIOR

INDIVIDUAL KATA (個人戦形)

GIRLS AGE9YEARS

1ST : 秋山 響子 (日本)
2ND : 川口 泉 (日本)
3RD : 永田 一紗 (日本)

GIRLS AGE11YEARS

1ST : 菊池 那奈 (日本)
2ND : 関谷 芽久 (日本)
3RD : 元木 麻由 (日本)

GIRLS AGE13YEARS

1ST : 遠藤 千夏 (日本)
2ND : 早川 香菜 (日本)
3RD : 河村 真弥 (日本)

GIRLS AGE15YEARS

1ST : 橋爪 美紅 (日本)
2ND : 新岡 清夏 (日本)
3RD : 勝岡 未来 (日本)

BOYS AGE9YEARS

1ST : 笹野 由宇 (日本)
2ND : ロクカルゲ 晃啓 (日本)
3RD : 世古 幸輝 (日本)

BOYS AGE11YEARS

1ST : 渡辺 力哉 (日本)
2ND : 秋山 達哉 (日本)
3RD : 渡邊 海也 (日本)

BOYS AGE13YEARS

1ST : 掃詰 友志 (日本)
2ND : 松山 良平 (日本)
3RD : MOHAMMEDSALITH (ENGLAND)

BOYS AGE15YEARS

1ST : 中村 大樹 (日本)
2ND : 元木 慎也 (日本)
3RD : 松山 祐太郎 (日本)

GIRLS AGE10YEARS

1ST : 宮澤 優華 (日本)
2ND : 松浦 玲奈 (日本)
3RD : 竹浪 春夏 (日本)

GIRLS AGE12YEARS

1ST : 工藤 淑 (日本)
2ND : 金森 菜摘
3RD : 飯田 愛理 (日本)

GIRLS AGE14YEARS

1ST : 久保田 朋美 (日本)
2ND : 赤木 希 (日本)
3RD : 五十嵐 梨花 (日本)

GIRLS 16-18YEARS

1ST : 深作 世里乃 (日本)
2ND : 堀 裕奈 (日本)
3RD : 鈴木 ゆかり (日本)

BOYS AGE10YEARS

1ST : 石橋 敦史 (日本)
2ND : 三上 陽大 (日本)
3RD : 山田 大空 (日本)

BOYS AGE12YEARS

1ST : 成田 恵基 (日本)
2ND : 鈴木 雄斗 (日本)
3RD : 石井 大寛 (日本)

BOYS AGE14YEARS

1ST : 服藤 克哉 (日本)
2ND : 里村 龍 (日本)
3RD : 酒井 優弥 (日本)

BOYS 16-18YEARS

1ST : 深谷 明輝 (日本)
2ND : 安藤 誠 (日本)
3RD : 渡邊 将貴 (日本)

INDIVIDUAL KUMITE (個人戦組手)

GIRLS AGE9YEARS

1ST : 秋山 響子 (日本)
2ND : 田野田 万由子 (日本)
3RD : 地場 朱里 (日本)
3RD : 川口 泉 (日本)

GIRLS AGE11YEARS

1ST : 野崎 真理 (日本)
2ND : TERSIA SWART (STH AFRICA)
3RD : SKYE SHARPLES (STH AFRICA)
3RD : 松原 美咲 (日本)

GIRLS AGE13YEARS

1ST : 遠藤 千夏 (日本)
2ND : 山口 美幸 (日本)
3RD : 美濃部 彩加 (日本)
3RD : JACI WRIGHT (AUSTRALIA)

GIRLS AGE15YEARS

1ST : 橋本 泉 (日本)
2ND : 高橋 真澄 (日本)
3RD : 梶井 美歩 (日本)
3RD : 新岡 清夏 (日本)

BOYS AGE9YEARS

1ST : 油木田 梧郎 (日本)
2ND : ロクカルゲ 晃啓 (日本)
3RD : 世古 幸輝 (日本)
3RD : 笹野 由宇 (日本)

BOYS AGE11YEARS

1ST : 清水 芳隆 (日本)
2ND : CHARL VANDENBERG (AUST.)
3RD : 東出 隆誠 (日本)
3RD : 五十嵐 龍次 (日本)

BOYS AGE13YEARS

1ST : MICHAEL SHIELDS (AUSTRALIA)
2ND : 掃詰 友志 (日本)
3RD : ANTONIO JOSEGILLET (BRAZIL)
3RD : JAMES PRETORIUS (STHAFRICA)

BOYS AGE15YEARS

1ST : 鈴木 優太 (日本)
2ND : 石野 諒 (日本)
3RD : JOHN DIAS (SOUTHAFRICA)
3RD : 齋藤 力弥 (日本)

GIRLS AGE10YEARS

1ST : 織田 ありさ (日本)
2ND : 小泉 純子 (日本)
3RD : 小田嶋 佳奈 (日本)
3RD : 坂田 いず美 (日本)

GIRLS AGE12YEARS

1ST : 川村 菜摘 (日本)
2ND : 井上 莉紗子 (日本)
3RD : 金森 夏美 (日本)
3RD : 石田 眞美 (日本)

GIRLS AGE14YEARS

1ST : 松島 瀬里奈 (日本)
2ND : 豊嶋 紗穂 (日本)
3RD : 横山 飛鳥 (日本)
3RD : EMILY DUNN (AUSTRALIA)

GIRLS 16-18YEARS

1ST : JOSMAIRA QUIROZ (VENEZUELA)
2ND : 佐々木 彩 (日本)
3RD : SARAH JONES (CANADA)
3RD : MARINA BRITO (BRAZIL)

BOYS AGE10YEARS

1ST : 阿部 幸哉 (日本)
2ND : 山田 大空 (日本)
3RD : GRANT CONNOLLY (AUSTRALIA)
3RD : 掃詰 開士 (日本)

BOYS AGE12YEARS

1ST : JOEL LEVY (VENEZUELA)
2ND : 鈴木 雄斗 (日本)
3RD : 窪田 桂 (日本)
3RD : NATHAN MCCARTNEY (CANADA)

BOYS AGE14YEARS

1ST : 塚中 将成 (日本)
2ND : 西村 信八 (日本)
3RD : JOHAN ALESSANDRINI (AUST.)
3RD : 片山 雄介 (日本)

BOYS 16-18YEARS

1ST : 佐藤 駿 (日本)
2ND : SAM SCHOFIELD (AUSTRALIA)
3RD : 芥川 昌宏 (日本)
3RD : PEDRAM RUSTEGAR (USA)

第49回

全国空手道選手権大会

日時/2006年7月8・9日

会場/東京体育館(1日目)・日本武道館(2日目)

主催/日本空手協会

(写真協力、守礼堂・舞塚公敬氏、記事協力 チャンプ)



内閣総理大臣杯受賞の個人戦男子組手優勝・志水亮介、個人戦女子組手優勝の高橋優子

協会の歴史に新しい1ページ!

49回目を迎えた全国大会一般個人組手男子にて昨年準優勝の若獅子・志水亮介がとうとう頂点に立った。また一般個人組手女子も昨年、準優勝の高橋優子が優勝し、形も男子で栗原一晃、女子で新垣美紗子が優勝。協会全国大会の歴史に新しい1ページを加えた。

一般男子個人組手

49回目の王座には誰が着くのか。昨年の優勝・尾方弘二、同準優勝・志水亮介、同3位・飯塚能敏、同3位・杉山俊輔の4人が四隅を固めて組まれたトーナメント戦。昨年の優勝者・尾方の2連覇なるかに注目が集まっ

たが、尾形は初戦(2回戦)でまさかの反則負けという波乱の幕開けとなった。

早々に尾方のいなくなったトーナメントで次に注目されたのが、昨年その尾方にあと一歩まで迫り、準優勝となった志水だった。志水は3回戦で怪物・リチャード・ヘセルトン、5回戦で小林邦雄を下して堂々の準決勝進出を果たす。

準決勝で志水を待っていたのが、駒澤大学3年生の伊藤龍也。志水はこの伊藤に対して上段への裏拳打ちを見せるなどして併せ一本を奪って勝利。2年連続決勝進出を決めた。

一方、反対のブロックでは準々決勝で、高杉聡哉と大隈広一郎が対戦し、0-0の再試合か



優勝候補筆頭の尾方弘二がまさかの反則負け。波乱含みの幕開けとなった



今大会、志水を中心に大会は進むことになった。スピード、伸びのある攻撃でトーナメントを席捲



準々決勝、杉山俊輔と本部指導員高橋敏の対戦は再々試合に、杉山が鋭い踏み込みから中段逆突きを極め勝利



4回戦で本部研修生・桑田力を破って準々決勝進出した大隈、本部指導員・半崎靖彦を破った高杉聡哉を再試合のすえ2-0で勝利し、準決勝へ

ら大隈が勝利。高橋敏(本部推薦)と杉山俊輔(指定)の準々決勝は再々試合の激戦を杉山が制し、準決勝は大隈vs杉山の一戦となった。パワフルファイター・大隈広一郎と3年前の準優勝者・杉山俊輔の準決勝。間合いを計る大隈に対し、伸びのある上段突きと相手の懐深く入る中段突きで技有り二つを奪った杉山が勝利。杉山が3年ぶり2度目の決勝進出を果たした。

志水亮介と杉山俊輔の決勝戦。ともに過去1度、準優勝しており、2度目の王座への挑戦である。

この両雄の決勝戦は5分間三本(二本先取



本部指導員、志水亮介と、小林邦雄の対戦は上段突きを立て続けに極めた志水が勝利した



本部指導員根本敬介がまさかの準々決勝で姿を消すことに、駒大・伊藤龍也が準決勝に進出した



長身の大隈に対し、杉山は積極的に仕掛け、上段突き、そして中段逆突きを極め2-0で勝利、自身2度目の決勝進出へ



駒大・伊藤龍也と志水亮介との対戦は、志水が立て続けに上段突きを極め勝利、昨年に続き決勝戦へ進出した



志水は決勝戦でも積極的に仕掛け、杉山の上段突きを抜いて上段刻み突きで技あり、そして裏拳で一本、最後はフェイントからの上段突きで4-0、志水が初優勝をはたした



協会の歴史に名を刻んだ志水亮介、来年は50回大会、志水の連覇はあるのか？



2度目の決勝進出をはたした杉山俊輔、敗れたものの鋭い逆突きは対戦相手には大きな脅威となった

り)で行われた。まずは志水の気合いのこもった上段突きが極まって志水が技有りを奪う。取られたら取り返せとばかりに果敢に攻める杉山。しかしその杉山に対し、志水は準決勝でも見せた裏拳打ちを放つ。そしてこれが「一本！」。これによりもう後のない杉山。さらに

自分から出る組手を展開するが、最後は落ちていて相手を観る事のできた志水が出合いの上段突きを極めて技有り！ここに志水亮介という協会チャンピオンが誕生したのである。普段から多彩な技を見る事ができる協会全国だが、今大会は志水の裏拳が印象的だった。

その志水は「今までは身に付けた技をなかなか使う事ができなかった。今回は技をどうやって出すかを考えながら一戦一戦臨みました。これで少しは自分を変える事ができたんじゃないかと思います。これからもいろんな大会で全力を尽くしたいと思います」と更なる目標を掲げた。

【一般女子個人組手】

男子同様、昨年の優勝・奥家沙都美、同準優勝・高橋優子、同3位・新垣美紗子、同3位・藤原菜希の4人が四隅を固めて行われた女子組手。昨年優勝の奥家は順当に駒を進め、準々決勝では新井彩可を2-1で下して準決勝進出を

果たす。2連覇のかかった奥家だったが、しかし準決勝で対戦した伏兵・高谷直子に再試合の末敗れ、連覇の夢が閉ざされたしまった。

奥家を下した高谷は、大正大学を卒業2年目。3回戦で昨年3位の新垣美紗子、準々決勝で総本部の平山裕子を下し、さらに昨年チャンピオンを下して堂々の決勝進出だった。

一方、反対のブロックでは昨年準優勝の高橋優子が気を吐く。準々決勝で城田貴樹、準決勝で大正大の後輩・藤原菜希を下して決勝進出。決勝ではこれも大正大の後輩・高谷直子との対戦となった。

高橋 v.s 高谷の決勝戦。先行したのは後輩・高谷。開始早々、上段突きを極め技有りを奪う。しかし高橋は落ち着いた組手から上段突きの技有りを二つ極め、見事、高谷を下して嬉しい初優勝を遂げた。昨年の準優勝からさらに優勝というステップアップを果たした高橋は「今まで優勝というのがなかったのでやっとタイトルが取れて嬉しいです」と喜びを語った。



再試合にもつれた奥家沙都美と高谷直子の対戦は、奥家が中段で先制、しかし高谷が上段突きを立て続けに極め勝利決勝へ



高屋直子と高橋優子の大正大学・同門対決は高谷が上段突きで先行、しかし、高橋優子は慌てることなく上段逆突き逆突きで技あり、そして先の先の上段逆突きで技あり、合わせて一本、攻めの組手で優勝に輝いた



高橋優子と藤原菜希の同門対決は先輩高橋が逆突き逆突き、そして、引き込んでの上段突きで技あり、決勝戦に進出した



昨年の準優勝からついに頂点至った栗原一晃、スピード感溢れる新しい仕組で新時代を築くか

【一般男子個人形】

栗原一晃、壮鎮で頂点に！

119名が出場した男子形。昨年の戦績は優勝・小林邦雄、準優勝・栗原一晃、第3位・齋藤祐樹。今大会の予選と準決勝をクリアして決勝へ進んだのは齋藤祐樹(指定)、産方弘二(指定)、谷山卓也(本部推薦)、栗原一晃(指定)、尾方弘二(指定)、高橋敏(指定)、中山岳男(本部推薦)、小林邦雄(指定)の8人。初っぱな、前年3位の齋藤祐樹が得意の雲手で42・3点を叩き出すも、三番手に登場した過去5度の総合優勝者・谷山卓也が壮鎮で42・4点とトップを奪う。しかし谷山の天下も、4番目に登場した前年準優勝・栗原一晃の壮

鎮が出した43・1点に追い越されてしまう。

その後、この栗原を追い越す得点は見られず、演武順最後に登場した前年王者・小林邦雄は五十四歩小を演武。見せるか大逆転。固唾を呑んで見守る場内。出た点数は42・8点。どよめく場内。これにより栗原一晃の優勝が決まった。

研修生3年目にして堂々の協会頂点に立った栗原は水城高校時代から持っている腰痛と戦いながらの優勝。大会前はイメージトレーニングと減量に励んだという。「これまで岩鶴に重点を置いて練習してきただけに壮鎮は不安がありました。自分の出来としては85点。まだまだ稽古が必要だと思えます」と語った。



四位 齊藤 祐樹
雲手 41.7



三位 谷山卓也
社鎖 42.4



準優勝 小林 邦雄
五十四歩小 42.8



優勝 栗原 一晃
社鎖 43.1



八位 中山岳男
十手 41.0



七位 尾方 弘二
社鎖 41.5



六位 高橋 敏
雲手 41.7



五位 産方 弘二
雲手 41.7

〔一般女子個人形〕

新垣美紗子、
堂々の2連覇達成

76名が出場した女子個人形。決勝に進んだのはウオーターハウス美希(本部推薦)、ウオーターハウス重耶(兵庫)、大島望(指定)、井手佳寿美(東京)、高橋博子(宮城)、城田貴樹(山梨)、新垣美紗子(指定)、平山裕子(指定)の8名。昨年からは一般個人に出場のウオーターハウス姉は今年も二人そろって決勝進出となった。

前年王者で組手も3位入賞という活躍を見せた新垣美紗子は、今大会、組手では2回戦でまさかの敗退。早い時期に形に専念する事になった。

その新垣は演武順7番目に登場。そこまでは前年3位・大島望の岩鶴が42・2点と最高得点をマークしている。新垣の演じたのは華麗さを売りとする雲手。ジャンプの箇所も綺麗に極めた新垣



総本部指導員・新垣美紗子が、華麗、正確な雲手で頂点に。昨年に続き連覇を達成した



準優勝 大島望
岩鶴 42.2



優勝 新垣美紗子
雲手 42.8



六位 井出佳寿美
五十四歩小 41.1



五位 ウオーターハウス・美希
若鶴 41.2



四位 平山裕子
技審小 42.1 (41.8)



三位 城田貴樹
五十四歩小 41.2 (42.3)



形でも駒澤大学が頂点に輝いた



八位 高橋博子
五十四歩小 40.3



七位 ウオーターハウス・亜耶
社鶴 40.7

の雲手に審判は42・8点と最高得点を出す。最後に登場したのが前年準優勝の平山裕子。トレッドマークの技審小を演武して注目の得点は42・1点と及ばず。これにより新垣の2年連続優勝が決まった。「組手が2回戦で終わってしまったので、気持ちを新たに形に臨もうと思いました。8月の世界大会ではもう一度初心に戻って一から練習して臨みたいと思います」と更なる目標を掲げた。

【団体戦】
大学男子団体組手は駒澤大学と国士館大学の決勝戦となり、駒澤大学が4連覇達成。その駒澤大学は同じく大学団体形でも優勝を果たし、こちらは何と15連覇という記録更新をした。
一般男子団体組手は国士館大学のOBチーム国空会が優勝。
女子団体組手は大正大学と京都府本部の決勝対

DVD絶賛発売中!

第10船越義珍杯
世界空手道選手権大会

THE 10TH FUNAKOSHI GICHIN CUP KARATE WORLD CHAMPIONSHIP TOURNAMENT

期日: 2006年8月19 - 20日 会場: オーストラリア・シドニー

■商品番号 DCMP-985

■カラー 80分

■定価 8,000円(税込)

■収録内容 Kata Individual Male / Kata Individual Female / Kumite Individual Male / Kumite Individual Female / Kata Team Male / Kata Team Female / Kumite Team Male / Kumite Team Female



船越義珍翁正統正伝

■解説 / (社)日本空手協会 主席総監 中山正敏

松濤館十五の形

各4,800円(税込) 収録時間 各30分 Vol.9 / 倉持(未完成)

- Vol.1 CMP-96(VHS)/DCMP-961(DVD) 平安(初~三段)
- Vol.2 CMP-962(VHS)/DCMP-962(DVD) 平安(四~五段)兼演(決)
- Vol.3 CMP-963(VHS)/DCMP-963(DVD) 鉄騎(二~三段)
- Vol.4 CMP-964(VHS)/DCMP-964(DVD) 技審
- Vol.5 CMP-965(VHS)/DCMP-965(DVD) 観空
- Vol.6 CMP-966(VHS)/DCMP-966(DVD) 十手
- Vol.7 CMP-967(VHS)/DCMP-967(DVD) 半月
- Vol.8 CMP-968(VHS)/DCMP-968(DVD) 高飛
- Vol.10 CMP-970(VHS)/DCMP-969(DVD) 落忍

松濤館選定形

各4,800円(税込) 収録時間 各25分

- Vol.1 CMP-971 社鶴
- Vol.2 CMP-972 雲手

期待のDVD化!



お問い合わせ・ご注文

CHAMP

株式会社 チャンプ 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-3 総和第二ビル2階

TEL. 03-3315-3190 FAX.03-3312-8207

URL www.karatado.co.jp/champ



東京都を優勝に導いた、今野(左)そして塩谷(右)



大正大学、そして京都産業大学のメンバー擁する京都府本部の対戦は先鋒藤原が2-1で勝利、中堅の新井が京都・筑賀に0-2で敗れるものの大将岡野が2-0で勝利、接戦をものにした



先鋒から副将まで部済の4連勝で勝負を決めた駒澤大学が頂上に



文部科学大臣賞に輝いた芥川昌宏(左)と葛西美由紀(右)



団体戦で頂点にたった山口鴻城高校

決となり大正大が8年ぶりの優勝を果たした。また都道府県団体組手は4連覇の懸かった山形県に代わって東京都が優勝。都道府県団体形は6連覇のかかった千葉県に代わって愛知県が優勝を果たした。一般団体形は北海道の江別支部が昨年に続き2連覇を達成した。

【高校生】

高校団体組手は山口鴻城高校が決勝で茨城県

本部を下して嬉しい初優勝。団体形は浜松開誠館高校が優勝を遂げた。個人戦は男子組手で芥川昌宏(静岡)、女子組手では葛西美由紀(青森)が優勝。形では男子が深谷明輝(茨城)、女子が深作世里乃(茨城)と、ともに茨城勢が優勝を果たした。

個人戦一般

- 一般男子個人戦組手
- 優勝 栗原 一晃
- 準優勝 小林 邦雄
- 三位 谷山 卓也
- 四位 斎藤 祐樹
- 五位 産方 弘二
- 六位 尾方 敏二
- 七位 高橋 敏
- 八位 中山 岳男

- 準優勝 渡辺 特貴
- 三位 安藤 誠
- 四位 伊藤 晃寛
- 五位 茂木 千明
- 六位 小泉 英治
- 七位 芥川 昌宏
- 八位 高山 翔太

- 高校生男子組手
- 優勝 山口鴻城高校(山口)
- 準優勝 茨城県本部(茨城)
- 三位 松商学園(長野)

一般男子個人戦組手

- 優勝 志水 亮介
- 準優勝 杉山 俊輔
- 三位 大隈 広一郎
- 四位 伊藤 龍也
- 五位 小林 邦雄
- 六位 高橋 敏
- 七位 根本 敬介
- 八位 高杉 聡哉

- 高校生男子個人戦組手
- 優勝 芥川 昌宏
- 準優勝 松原 充昌
- 三位 宮本 尚
- 四位 佐藤 駿
- 五位 飯村 史毅哉
- 六位 綿貫 卓也
- 七位 芝田 浩一郎
- 八位 種市 諒崇

- 都道府県組手の部
- 優勝 東京都
- 準優勝 静岡県
- 三位 大阪府

一般女子個人戦組手

- 優勝 新垣美紗子
- 準優勝 大島 望
- 三位 城田 貴樹
- 四位 平山 裕子
- 五位 ウォーターハウス・美希
- 六位 井出 佳寿美
- 七位 ウォーターハウス・重耶
- 八位 高橋 博子

- 高校生女子個人戦組手
- 優勝 深作 世里乃
- 準優勝 葛西 美由紀
- 三位 三浦 理紗
- 四位 堀 裕奈
- 五位 鈴木 ゆかり
- 六位 小林 実希
- 七位 佐々木 彩
- 八位 小井手 梨恵

- 大学組手の部
- 優勝 駒澤大学
- 準優勝 青山学院大学
- 三位 国士館大学

一般女子個人戦組手

- 優勝 高橋 優子
- 準優勝 高谷 直子
- 三位 奥家 沙都美
- 四位 藤原 菜希
- 五位 平山 裕子
- 六位 新井 彩可
- 七位 平野 友梨
- 八位 城田 貴樹

- 一般組手の部
- 優勝 国空会(OB会)
- 準優勝 武士道場(山形)
- 三位 八街一州支部B(千葉)

個人戦高校生

- 高校生男子個人戦組手
- 優勝 深谷 明輝

- 女子組手
- 優勝 大正大学
- 準優勝 京都府本部
- 三位 宮城県本部

団体戦

- 高校生男子形
- 優勝 浜松開誠館高校(静岡)
- 準優勝 大和支部(茨城)
- 三位 松本第一高校(長野)

- 女子形
- 優勝 青山学院大学
- 準優勝 宮城県本部
- 三位 駒澤大学

一般男子個人戦組手

- 優勝 高橋 優子
- 準優勝 高谷 直子
- 三位 奥家 沙都美
- 四位 藤原 菜希
- 五位 平山 裕子
- 六位 新井 彩可
- 七位 平野 友梨
- 八位 城田 貴樹

- 一般組手の部
- 優勝 国空会(OB会)
- 準優勝 武士道場(山形)
- 三位 八街一州支部B(千葉)

個人戦高校生

- 高校生男子個人戦組手
- 優勝 深谷 明輝

- 女子組手
- 優勝 大正大学
- 準優勝 京都府本部
- 三位 宮城県本部

団体戦

- 高校生男子形
- 優勝 浜松開誠館高校(静岡)
- 準優勝 大和支部(茨城)
- 三位 松本第一高校(長野)

- 女子形
- 優勝 青山学院大学
- 準優勝 宮城県本部
- 三位 駒澤大学

一般男子個人戦組手

- 優勝 高橋 優子
- 準優勝 高谷 直子
- 三位 奥家 沙都美
- 四位 藤原 菜希
- 五位 平山 裕子
- 六位 新井 彩可
- 七位 平野 友梨
- 八位 城田 貴樹

- 一般組手の部
- 優勝 国空会(OB会)
- 準優勝 武士道場(山形)
- 三位 八街一州支部B(千葉)

個人戦高校生

- 高校生男子個人戦組手
- 優勝 深谷 明輝

- 女子組手
- 優勝 大正大学
- 準優勝 京都府本部
- 三位 宮城県本部

団体戦

- 高校生男子形
- 優勝 浜松開誠館高校(静岡)
- 準優勝 大和支部(茨城)
- 三位 松本第一高校(長野)

- 女子形
- 優勝 青山学院大学
- 準優勝 宮城県本部
- 三位 駒澤大学

第49回

社団法人日本空手協会

小学生、中学生 全国空手道選手権大会

日時：2006年7月29（土）、30日（日）
場所：盛岡市アイスアリーナ

主催：盛岡市、盛岡市教育委員会

主管：社団法人日本空手協会岩手県本部

後援：文部科学省、全日本空手道連盟、サンケイ新聞、岩手県、（財）盛岡観光コンベンション協会、雫石町、雫石町観光協会、岩手県商工会

議所連合会、盛岡商工会議所、岩手県商工会連合会、盛岡市商店街連合会、NHK盛岡放送局、岩手日報社、IBC岩手放送、テレビ

岩手、岩手めんこいテレビ、岩手県朝日テレビ、エフエム岩手、盛岡エフエム放送、盛岡タイムス社、岩手県旅館ホテル生活衛生同業

組合、岩手県飲食業生活衛生同業組合、東日本旅客鉄道盛岡支社、岩手県バス協会、盛岡地区タクシール業共同組合

参加選手：3882人

観客動員：約2万人（2日間）

総合優勝は 2年連続青森県に!!

岩手県盛岡市アイスアリーナにて、さる7月29日（土）7月30日（日）社団法人日本空手協会第49回小学生、中学生全国空手道選手権大会が開催された。今年もまた選手団、観客を含め会場には1万人を越す人が詰めかけ大規模な大会となった。45回大会から創設された総合優勝は、青森県が2年連続で優勝、2位には大阪府、

3位は山梨県と新潟県が入った。
最高の舞台を用意して下さった吉田莞爾県本部長、菊池越夫事務局長をはじめとし、岩手県の役員、少年役員の皆様ありがとうございました。



今大会は岩手県盛岡市アイスアリーナで盛大に開催され、2日間で総来場者は2万人を越す大会となった

団体戦形の部



息のあった岩籠を演武した福源院道場（山梨県）が高学年の部形団体優勝



低学年の部団体形優勝の横須賀支部（神奈川県）気溢れる慈恩を演舞



岩手県代表選手、村上力選手、谷地愛美選手による選手宣誓

団体戦組手の部



小学低学年団体組手、受け極めの技術の高さが光った道心館（山梨県）が優勝



中学団体の部形優勝は、重厚な慈恩を演武した弘前中央支部（青森県）が2連覇を達成した

個人戦



小学3年生男子相手の部において優勝した
笹野由半選手相手の部では準優勝の大活躍



中学団体相手の部、千葉県本部が初出場、初優勝の快挙



青森東支部が小城支部を接戦で制して高学年団体相手の部で優勝



中学1年生女子形の部で優勝した
逸藤千夏、昨年に続く2連覇の大活躍。形は岩鶴



中学1年生形の部において優勝した
袖山響。形は燕飛



形は技塞大

小学3年生女子形の部において
優勝した秋山響子。形は技塞大

文部科学大臣賞



栄えある文部科学大臣賞に輝いた選手と中原会長との記念撮影（小学6年生女子相手の部優勝、藤沼奈那 中学3年生女子相手の部優勝 高橋真澄）



中学1年相手決勝戦、大久保（東京）対山本（静岡）、終始積極的に前に出た大久保が上段突きを極め、優勝をもぎ取った



中学3年生女子形の部優勝の新聞 清夏（青森）



小学6年生女子形の部は古沢寿美が制した



小学6年生男子形の部優勝竹中拓海



決勝戦、増田（山梨）対 與齋（秋田）の対決となった。両者がぶつかりあう激しい試合になった。前蹴りを繰り出す與齋に対し、増田は中段突きを決め、増田が小6組手を制し文部科学大臣賞に輝く



中学3年男子組手の部決勝、岩丸（福岡）対石野（宮城）、両者の意地がぶつかりあう激しい試合。岩丸が接戦をものにし文部科学大臣賞に輝いた



今年の総合優勝は、好成績を積み上げ団体戦、個人戦共に活躍の目立った青森県が昨年に引き続き2連覇を達成した

●低学年団体形

- 優勝 横須賀支部（神奈川県）
- 準優勝 新潟県本部（新潟県）
- 三位 戸塚支部（神奈川県）



小学生低学年形の部入賞者

●低学年団体組手

- 優勝 道心館（山梨県）
- 準優勝 埼玉県本部（埼玉県）
- 三位 山形県本部（山形県）



小学生低学年団体組手の部入賞者

団体戦形表彰



●中学生団体形

- 優勝 弘前中央支部（青森県） 慈恩 37.2
- 準優勝 スポーツアカデミー（富山県） 燕飛 36.7
- 三位 尾鷲支部（三重県） 観空大 36.6

団体戦組手表彰



中学生団体形の部入賞者

●高学年団体形

- 優勝 福源院道場（山梨県） 岩鶴 36.4
- 準優勝 温海支部（山形県） 十子 35.9
- 三位 新潟県本部（新潟県） 慈恩 35.9



小学生高学年形の部入賞者

●小3男子形

優勝 笹野 由子 (神奈川県)
準優勝 油木田 悟郎 (千葉県)
三位 片平 浩嗣 (神奈川県)



●中学生団体組手

優勝 千葉県本部 (千葉県)
準優勝 矢木支部 (宮城県)
三位 林取道場 (岡山県)



中学生団体組手の部入賞者

●高学年団体組手

優勝 青森東支部 (青森県)
準優勝 小城支部 (佐賀県)
三位 福源院道場 (山梨県)



小学生高学年団体組手の部入賞者

●小3女子組手

優勝 平田 萌 (大阪府)
準優勝 川口 泉 (大阪府)
三位 松本 あすか (愛知県) 三位 坂本 絵実 (青森県)



●小3男子組手

優勝 ロクカルク 晃啓 (大阪府)
準優勝 笹野 由子 (神奈川県)
三位 梅山 竣也 (埼玉県)・千葉 丈市朗 (宮城県)



●小3女子形

優勝 秋山 響子 (新潟県)
準優勝 川口 泉 (大阪府)
三位 渡辺 花実 (静岡県)



●小4男子組手

優勝 斎藤 賢人 (山形県)
準優勝 三上 陽大 (青森県)
三位 塩谷 優太 (大阪府)・大野 陽平 (福島県)



●小4女子形

優勝 福島 孝奈 (岡山県)
準優勝 宮澤 俊幸 (長野県)
三位 木村 友香 (長野県)



●小4男子形

優勝 佐藤 宏大 (神奈川県)
準優勝 山田 大空 (三重県)
三位 鈴木 尚也 (静岡県)



●小5女子形

優勝 上村 美南 (秋田県)
準優勝 杉山 愛菜 (京都府)
三位 山田 香蓮 (三重県)



●小5男子形

優勝 秋山 達哉 (新潟県)
準優勝 渡辺 力成 (茨城県)
三位 曾根 和輝 (静岡県)



●小4女子組手

優勝 山本 貴恵 (大阪府)
準優勝 木村 絵美理 (静岡県)
三位 田野 恵梨奈 (兵庫県)・竹綱 都々 (大阪府)



●小6男子形

優勝 竹中 拓海 (東京都)
準優勝 石井 大覚 (山梨県)
三位 成田 恵基 (青森県)



●小5女子組手

優勝 鈴木 眞弥 (青森県)
準優勝 水野 雅浩 (静岡県)
三位 大沢 真央 (青森県)・野崎 真理 (福岡県)



●小5男子組手

優勝 東出 隆誠 (青森県)
準優勝 美濃部 将啓 (東京都)
三位 村田 健史 (神奈川県)・上村 哲生 (福岡県)



●小6女子組手

優勝 藤沼 奈那 (茨城県)
準優勝 鈴木 七海 (宮城県)
三位 鳥船子田 佳穂 (富山県)・井上 千紘 (秋田県)



●小6男子組手

優勝 増田 啓介 (山梨県)
準優勝 奥野 尊偉 (秋田県)
三位 成田 恵基 (青森県)・稲見 研人 (埼玉県)



●小6女子形

優勝 吉沢 香寿美 (新潟県)
準優勝 工藤 凜 (山形県)
三位 上野 夏生 (山形県)



●中1男子組手

優勝 大久保 勇斗 (東京都)
準優勝 山本 智哉 (静岡県)
三位 染谷 研生 (茨城県)・香取 祐直 (神奈川県)



●中1女子形

優勝 遠藤 千夏 (埼玉県)
準優勝 河村 真弥 (福岡県)
三位 佐藤 里奈 (山形県)



●中1男子形

優勝 袖山 響 (大阪府)
準優勝 福舘 友志 (三重県)
三位 大川 剛 (千葉県)



●中2女子形

優勝 高橋 愛季 (宮城県)
準優勝 五十嵐 梨花 (大阪府)
三位 上杉 ユミ (埼玉県)



●中2男子形

優勝 伴 佳喜 (岡山県)
準優勝 服部 克哉 (愛媛県)
三位 古川 尚人 (青森県)



●中1女子組手

優勝 鈴木 愛乃 (千葉県)
準優勝 大島 みのり (群馬県)
三位 道本 剛帆 (東京都)・谷地 愛美 (岩手県)



●中3男子形

優勝 松山 祐太郎 (青森県)
準優勝 吉田 直之 (東京都)
三位 進杉 拓磨 (富山県)



●中2女子組手

優勝 久保田 恵理佳 (静岡県)
準優勝 田口 聡珠 (千葉県)
三位 安水 聖奈 (福岡県)・野路 愛実 (大阪府)



●中2男子組手

優勝 比企 駿也 (新潟県)
準優勝 中里 高汰 (茨城県)
三位 黒村 龍 (青森県)・重吉 諒二 (福岡県)



●中3女子組手

優勝 高橋 真澄 (群馬県)
準優勝 宮村 知里 (福岡県)
三位 中川 恵 (宮城県)・新岡清夏 (青森県)



●中3男子組手

優勝 岩丸 幸吾 (福岡県)
準優勝 石野 諒 (宮城県)
三位 岡部 良亮 (静岡県)・岩丸 龍吾 (福岡県)



●中3女子形

優勝 新岡 清夏 (青森県)
準優勝 橋爪 美虹 (新潟県)
三位 小林 麻優 (北海道)



平成十八年度 春季関東学生リーグ戦第51回大会

日 時：平成18年6月18日（日）午前10時開始
 主 催：社団法人日本空手協会関東学生会
 参加校数：25校（男子）17校（女子）
 試合方式：（社）日本空手協会試合規定による二分一本勝負
 試合の種類：個人戦、団体戦による相手試合、個人戦はトーナメント方式、団体戦はリーグ戦方式で行う。
 男子団体戦は1チーム5名、女子団体戦は1チーム3名、男子団体戦は3部制
 女子団体戦2部制（入れ替え戦あり）



国士館大学対関東学院大学、関学のエース小出が気迫ある相手をみせる



一部リーグ優勝の駒沢大学、大木が力強い相手でチームに勢いをつける

団体戦男子1部リーグ戦
 前回に引き続き駒沢大学が安定した力を発揮し負けなしの5戦全勝で優勝した。準優勝には3勝2敗で千葉工業大学が入賞した。同じく3勝2敗の関東学院大学が内容で千葉工大に届かず3位に入賞した。



国士館大学対大正大学、個人戦優勝の佐藤が上段突きを決める

女子1部リーグ戦
 大激戦の女子1部リーグ駒沢大学、大正大学、国士館大学がリーグ戦の結果3校が共に4勝1敗としたが内容により優勝が駒沢大学、準優勝が大正大学、第三位に国士館大学という結果となった。



千葉工大の山瀬が大活躍、準優勝の立役者になった



今大会絶好調の東京経済がリーグ戦全勝、入れ替え戦も制し一部にも昇格する大活躍をみせた

男子2部リーグ戦

前回優勝の防衛大学を東京経済大学が接戦で下しリーグ戦全勝で優勝を飾った。準優勝には東京経済に惜しくも1勝を許したものの4勝1敗で防衛大学、足利工業大学、首都大学東京、東京電大1部が共に2勝3敗とするが内容により足利工業大学が第3位に入賞した。



一部リーグ優勝、表彰を受ける駒沢大学の井出選手



女子二部リーグ戦は男子にも負けない激しい戦いになった

リーグ戦Aブロックを全勝で1位通過した筑波大学医学部と2勝2敗で2位の上智大学、Bブロックからは4勝1敗で1位通過した関東学院大学2位に3勝1敗1分で亜細亜大学が決勝トーナメントに挑んだ。決勝戦はリーグ戦共に1位通過同士の対決となった。関東学院大学が2勝1敗で筑波大学を下し優勝した。亜細亜大学が2勝1敗で上智大学を下し亜細亜大学が3位決定戦を制し入賞した。

女子2部リーグ



首都大学の中田が個人戦でも1部リーグの強豪選手を次々と破りベスト8に入る大活躍

男子個人戦は総勢77名が参戦、激戦が繰り広げられた。青木(駒沢大学)岩川(千葉工業大学)岡田(千葉工業大学)相良(大正大学)が

個人戦



三部リーグ戦、トーナメント決勝戦は高崎経済対筑波大の対戦、激戦を勝ちあがってきた両校の意地がぶつかりあう

リーグ戦Aブロックを高崎経済大学が4勝1敗で1位通過、同じく4勝1敗の筑波大学医学部が内容により2位通過、Bブロックは自治医科大学が全勝で1位通過。2位は独協大学と国際医療福祉大学が共に3勝2敗の内容も同点のため両校による再試合が行われた。独協大学が3勝2敗で国際医療福祉大学を下し決勝トーナメント進出を決めた。決勝戦を3勝1敗で高崎経済大学が優勝、準優勝は筑波大学医学部、決勝トーナメント3位決定戦は独協大学対自治医科大学の対決となったがここまで激戦を戦ってきた独協大だが自治医科大学が4勝1敗で下し3位に入賞した。

男子3部リーグ

形態安定空手衣 NST

軽くて縮まない空手着"NST"。一流選手をサポートするブランドです。



インターネットで気軽にEメールでご注文を!!

www.toukaido.co.jp

Eメールアドレス tokaido@par.odn.ne.jp

お申し込み・お問い合わせ

〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-12-14 麹町 KYビル6F

TEL / 03-3262-0281 (代表) FAX / 03-3234-9387

空手衣の

東海堂



青木対岡田の対戦、青木が勝利しリーグ戦男子個人の頂点にたった。個人戦準優勝の岡田は今大会の優秀選手に輝いた



佐藤対高野の対戦、お互いに積極的に仕掛ける好勝負となった

ベスト4に進出した。準決勝第一試合、青木対岩川の両者の対決となった今大会好調の青木が積極的に前に出て2-0で勝利し決勝に進出した。準決勝第2試合岡田対相良の対決、2-1で岡田が接戦を制し決勝に。青木と岡田で争われた決勝戦、再試合にもつれる接戦となった。両者がぶつかりあう激しい展開となったが青木が勝利し関東大学リーグ個人戦の頂点に立った。

女子個人戦

総勢55名で争われた女子個人戦、ベスト4に相馬(駒沢大学)佐藤(国士館大学)高野(大正大学)関坂(筑波大学医学部)の4名がトーナメントを勝ち上がった。決勝戦に駒を

進めたのは佐藤と高野の決戦となった。両者の対戦は佐藤が小柄ながらもスピード感溢れるキレのある組手で高野を下し優勝を決めた。

入れ替え戦

今大会で一番の盛り上がりを見せたリーグ戦最後を締めくくる入れ替え戦、男子一部入れ替え戦、筑波大学医学部が青山学院大学を破り一部に昇格した。

二部入れ替え戦、高崎経済大学が日本大学農獣医を破り、二部に昇格した。

女子入れ替え戦、関東学院大学が東京女子大学を筑波大学医学部が防衛大学を共に下し一部に昇格した。

リーグ戦結果

男子1部リーグ

- 1位 駒沢大学
- 2位 千葉工業大学
- 3位 関東学院大学
- 4位 大正大学
- 5位 国士館大学
- 6位 青山学院大学

(入れ替え戦)
(入れ替え戦)

男子2部リーグ

- 1位 東京経済大学
- 2位 防衛大学
- 3位 足利工業大学
- 4位 首都大学東京
- 5位 東京電気大学1部
- 6位 日本大学農獣医

(入れ替え戦)
(入れ替え戦)

男子3部リーグ

- Aブロック
- 1位 高崎経済大学
 - 2位 筑波大学医学部
 - 3位 日本大学歯学部
 - 4位 日本獣医大学
 - 5位 上智大学
 - 6位 亜細亜大学
- Bブロック
- 1位 自治医科大学
 - 2位 独協大学
 - 3位 国際医療福祉大学
 - 4位 昭和薬科大学
 - 5位 帝京大学理工学部
 - 6位 東京理科大学II部

- 3位 国士館大学
 - 4位 青山学院大学
 - 5位 防衛大学
 - 6位 東京女子体育大学
- (入れ替え戦)
(入れ替え戦)

女子2部リーグ

- Aブロック
- 1位 筑波大学医学部
 - 2位 上智大学
 - 3位 首都大学東京
 - 4位 日本大学歯学部
 - 5位 日本獣医大学
- Bブロック
- 1位 関東学院大学
 - 2位 亜細亜大学
 - 3位 東京経済大学
 - 4位 日本大学農獣医
 - 5位 自治医科大学
 - 6位 ICU

女子2部リーグ決勝トーナメント

- 1位 関東学院大学 (入れ替え戦)
- 2位 筑波大学医学部 (入れ替え戦)
- 3位 亜細亜大学
- 4位 上智大学

女子入れ替え戦の結果

- 1部昇格 筑波大学医学部
- 関東学院大学

男子個人戦

- 1位 青木 (駒沢大学)
- 2位 岡田 (千葉工業大学)
- 3位 岩川 (千葉工業大学)
- 3位 相良 (大正大学)

女子個人戦

- 1位 佐藤 (国士館大学)
- 2位 高野 (大正大学)
- 3位 関坂 (筑波大学医学部)
- 3位 相馬 (駒沢大学)

優秀選手

- 志村 龍巳 (駒沢大学)
岡田 泰典 (千葉工業大学)
小出 修也 (関東学院大学)

第10回 船越義珍杯 少年世界空手道 選手権大会に参加して

埼玉県 浦和中央支部
河合 俊宏

8月17日、オーストラリアのシドニー・オリンピック・スタジアムでの少年世界大会に埼玉県から同じ学年の西村君と小学3年の渡邊君、中学1年の遠藤さんと自分の4人で参加してきました。

まず、世界大会の結果ですが予選は無事に通過しました。が、決勝戦で型の途中で滑ってしまい、得点が低く8人中8位という結果に終わってしまいました。

予選の時からマットが国内のものとは違って非常に滑りやすいな、とわかっていましたが、コート一番での試合、ものすごい地元オーストラリアの選手への声援、何もかもが初めてでかなり緊張しました。気持ちの上でやる前に感じていた「頑張ろう！」という気持ちで、世界大会独特の雰囲気にも飲まれてしまっただけで、自分自身を落ち着かせることができませんでした。結果として自分自身をコントロールすることができなかつた、としか言いようのない大会でした。応援してくれたみなさんに申し訳ない内容で反省しています。

ですが、この経験を生かした次の大会では同じ失敗をしないように、日頃の稽古から、ただ一所懸命にやるだけではなく、一つ一つの基本や型や組手の稽古を試合をイメージしながら励もうと思います。今までは疲れたからといって手を抜いてしまったこともあったり



しましたが日ごろの稽古での集中力の持続が強い気持ちを作ることにすると痛感しました。この失敗で前よりも空手に対してもっともっとしっかりやっていかなければ、という気持ちが一層強くなりました。

試合内容とは別にこの世界大会では別の発見がありました。試合の時はお互いの試合を見たりしているうちに「日本の選手ですか？」と声をかけられたり、「どこからの参加ですか？」と尋ねられたり、最初は言葉がわからないので困ったな、と思いました。言葉はわからなくても同じ空手をやっているのだから分かります。一般大会の時とはアドレサや国の通貨、ステッカーを交換し合ったり、大人も子どもも関係なく、同じ空手をやる者として親しくなることができました。

世界大会に参加するという機会を与えてもらって、改めて空手について考え直したり、日頃にはない広い世界のことを感じることができ、とても感謝しています。この世界大会に向けて親身になりご指導くださった先生方、応援してくださった方々に改めてお礼を伝えたいし、それに対してこれからももっともっと頑張りたいと思っています。どうかこれからもよろしくお願いいたします。

2006年8月26日

記事掲載

本年10月15日、読売新聞のくらし健康欄に「60歳空手黒帯への道」と題して、日本空手協会逗子支部の関健さんの記事が掲載されました。

昇級・昇段	帯の色	稽古の内容など
1998年7月 入門	白	基本の立ち姿勢だけで汗だく
99年1月 7級	緑	前後左右に移動しながら技を出す
3月 6級	黄	足運びに重点
9月 5級	赤	連続技が増える
2000年6月 4級	茶	移動しながら解し出す連続技も
12月 3級	茶	左足に古傷があるため、足技の難しさを実感。技の精度、スピードが高度に
01年10月 2級	茶	苦手な動きもごまかせなくなってきた
02年5月 1級	茶	市民大会一般有段者の部で準優勝
03年1月 初段 黒帯	黒	受験1か月前からは毎日稽古
06年	黒	市民大会社年形の部で第3位二段昇段が目標



探健 60歳空手黒帯への道

神奈川縣逗子市で行われる日本空手協会逗子支部の稽古。関健さん(右)は、60歳の空手黒帯。関健さん(右)は、60歳の空手黒帯。関健さん(右)は、60歳の空手黒帯。

「60歳空手黒帯への道」

関健さん(右)は、60歳の空手黒帯。関健さん(右)は、60歳の空手黒帯。関健さん(右)は、60歳の空手黒帯。

シニアの注意

- 基本を正確に
- 準備運動、特にストレッチを大切に
- 突き、蹴りは10回でひと呼吸
- 力、スピードは、初めは力まず、ゆっくり→次は70% →最後に90% (無理をしないことが大事)
- 前後左右に移動しながらの練習は、1-2往復したらひと呼吸
- 小休止、水分補給を忘れずに(夏場は30-40分ごとに)
- 1日の稽古時間は最大90分まで

(日本空手協会 逗子支部より)

探健 60歳空手黒帯への道

関健さん(右)は、60歳の空手黒帯。関健さん(右)は、60歳の空手黒帯。関健さん(右)は、60歳の空手黒帯。

(社)日本空手協会 秋季国内外指導者講習会

平成18年10月6～8日の3日間にわたって、総本部道場にて恒例の合宿が行われました。

初日は、杉浦先生から参加者全員合同で形の矯正法について指導が行われ、続いて植木先生から基本組手、自由組手について指導が行われました。午後からは、2階、3階、4階に分かれて総本部指導員の各先生方から指導が行われました。稽古が終わった後には、中原会長から参加者の皆様に挨拶がありました。その後、宮城県本部長の森俊博先生から「空手道についての考察」という題で、講義が行われました。

2日目は4階で各資格試験についての講習会が行われ、2階、3階では総本部指導員の各先生による講習会が行われました。夜からは、総本部道場にて参加者の皆様と盛大に懇親会が行われました。

3日目は各種資格試験、昇段審査会が実施されました。また指導員による講習会が行われ、3日間の合宿を終えました。



国内外から大勢の指導者が総本部道場に集結、3日間、空手道の研鑽に努めた (写真協力・宮城県 舞巖公敬氏)



首席師範・杉浦初久二先生による形の講習会が行われた



大坂先生による講習会の風景



森俊博先生による講習会も行われた

Table of karate tournament results for Chiba Prefecture, May 27, 2006. Categories include elementary school (小学生), middle school (中学生), and high school (高校生) for both boys and girls. Lists names and their respective clubs.

Table of karate tournament results for Chiba Prefecture, May 27, 2006. Categories include elementary school (小学生), middle school (中学生), and high school (高校生) for both boys and girls. Lists names and their respective clubs.

Table of karate tournament results for Chiba Prefecture, May 27, 2006. Categories include elementary school (小学生), middle school (中学生), and high school (高校生) for both boys and girls. Lists names and their respective clubs.

Table of karate tournament results for Tokai Region, June 18, 2006. Categories include elementary school (小学生), middle school (中学生), and high school (高校生) for both boys and girls. Lists names and their respective clubs.



スーパークャンパス SBC
軽い、生地に張りがある、防縮、極めの時音がする。
初段から四段の段位証専用額新発売
http://www.karatedo.co.jp/shobu TEL.0553-23-5320
E-mail:shobu@sage.ocn.ne.jp FAX.0553-23-5340
〒405-0018 山梨県山梨市上神内川996-2 空手衣の尚武

●第35回 東北地区空手道選手権大会

山形県鶴岡市で開催
第35回東北地区空手道選手権大会は、平成18年6月25日(日)山形県本部主管で鶴岡市の小真木原体育館で、各地区から選抜された約650人の選手が参加して盛大に開催された。鶴岡市は、日本海に面し人口約14・2万人の山形県内第二の都市で、周辺には出羽三山がそびえ、映画「舞しぐれ」のロケ地でもよく知られていて、大会運営は、山形県内の各支庁父母などの協力のもとSM1スに行われた。来年は、宮城県での開催となる。

【組手の部】

- 小学3年男子 1位 千葉丈市朗(宮城) 2位 武内崇貴(山形) 3位 齋藤風(山形)
小学3年女子 1位 清野遥香(青森) 2位 坂本絵実(青森) 3位 宮城さくら(宮城)
小学4年男子 1位 鈴木雄介(山形) 2位 阿部幸成(宮城) 3位 齋藤賢人(山形)
小学4年女子 1位 今野早也花(宮城) 2位 三上穂香(青森) 3位 高橋千春(宮城)
小学5年男子 1位 男玉佑也(宮城) 2位 東出隆誠(青森) 3位 飛田裕希(宮城)
小学5年女子 1位 大野優佳(福島) 2位 佐々木麻耶(宮城) 3位 木村日咲(福島)
小学6年男子 1位 落合将平(福島) 2位 佐藤勇生(宮城) 3位 山田翔太(青森)
小学6年女子 1位 鈴木紗矢香(宮城) 2位 川村菜摘(宮城) 3位 田口夢子(宮城)
中学1年男子 1位 松山良平(青森) 2位 鈴木雄(宮城) 3位 齋藤秀真(宮城)
中学1年女子 1位 茂木咲月(宮城) 2位 鎌田莉江(岩手) 3位 谷地愛美(青森)
中学2年男子 1位 阿部俊介(宮城) 2位 本間義人(山形) 3位 里村直(青森)
中学2年女子 1位 阿部俊介(宮城) 2位 本間義人(山形) 3位 里村直(青森)
中学3年男子 1位 千葉丈市朗(宮城) 2位 武内崇貴(山形) 3位 齋藤風(山形)
中学3年女子 1位 清野遥香(青森) 2位 坂本絵実(青森) 3位 宮城さくら(宮城)
中学4年男子 1位 鈴木雄介(山形) 2位 阿部幸成(宮城) 3位 齋藤賢人(山形)
中学4年女子 1位 今野早也花(宮城) 2位 三上穂香(青森) 3位 高橋千春(宮城)
中学5年男子 1位 男玉佑也(宮城) 2位 東出隆誠(青森) 3位 飛田裕希(宮城)
中学5年女子 1位 大野優佳(福島) 2位 佐々木麻耶(宮城) 3位 木村日咲(福島)
中学6年男子 1位 落合将平(福島) 2位 佐藤勇生(宮城) 3位 山田翔太(青森)
中学6年女子 1位 鈴木紗矢香(宮城) 2位 川村菜摘(宮城) 3位 田口夢子(宮城)

【形の部】

- 小学3年男子 1位 坂本孝誠(青森) 2位 武内崇貴(山形) 3位 茂木一真(青森)
小学3年女子 1位 花田悠希乃(青森) 2位 森仁美(山形) 3位 高野和世(秋田)
小学4年男子 1位 坂本絵実(青森) 2位 花田悠希乃(青森) 3位 森仁美(山形)
小学4年女子 1位 坂本絵実(青森) 2位 花田悠希乃(青森) 3位 森仁美(山形)
小学5年男子 1位 坂本絵実(青森) 2位 花田悠希乃(青森) 3位 森仁美(山形)
小学5年女子 1位 坂本絵実(青森) 2位 花田悠希乃(青森) 3位 森仁美(山形)
小学6年男子 1位 坂本絵実(青森) 2位 花田悠希乃(青森) 3位 森仁美(山形)
小学6年女子 1位 坂本絵実(青森) 2位 花田悠希乃(青森) 3位 森仁美(山形)
中学1年男子 1位 菊地崇月(青森) 2位 三上夏希(山形) 3位 船山加奈(山形)
中学1年女子 1位 菊地崇月(青森) 2位 三上夏希(山形) 3位 船山加奈(山形)
中学2年男子 1位 菊地崇月(青森) 2位 三上夏希(山形) 3位 船山加奈(山形)
中学2年女子 1位 菊地崇月(青森) 2位 三上夏希(山形) 3位 船山加奈(山形)
中学3年男子 1位 菊地崇月(青森) 2位 三上夏希(山形) 3位 船山加奈(山形)
中学3年女子 1位 菊地崇月(青森) 2位 三上夏希(山形) 3位 船山加奈(山形)
中学4年男子 1位 菊地崇月(青森) 2位 三上夏希(山形) 3位 船山加奈(山形)
中学4年女子 1位 菊地崇月(青森) 2位 三上夏希(山形) 3位 船山加奈(山形)
中学5年男子 1位 菊地崇月(青森) 2位 三上夏希(山形) 3位 船山加奈(山形)
中学5年女子 1位 菊地崇月(青森) 2位 三上夏希(山形) 3位 船山加奈(山形)
中学6年男子 1位 菊地崇月(青森) 2位 三上夏希(山形) 3位 船山加奈(山形)
中学6年女子 1位 菊地崇月(青森) 2位 三上夏希(山形) 3位 船山加奈(山形)

【個人形の部】

- 小学3年男子 1位 津野駿 2位 今宮下季 3位 津野夏季
小学3年女子 1位 津野夏季 2位 今宮下季 3位 津野駿
小学4年男子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
小学4年女子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
小学5年男子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
小学5年女子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
小学6年男子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
小学6年女子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
中学1年男子 1位 志賀健太郎 2位 橋田裕生 3位 小澤輝平
中学1年女子 1位 志賀健太郎 2位 橋田裕生 3位 小澤輝平
中学2年男子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学2年女子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学3年男子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学3年女子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学4年男子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学4年女子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学5年男子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学5年女子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学6年男子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学6年女子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実

【個人形の部】

- 小学3年男子 1位 津野駿 2位 今宮下季 3位 津野夏季
小学3年女子 1位 津野夏季 2位 今宮下季 3位 津野駿
小学4年男子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
小学4年女子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
小学5年男子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
小学5年女子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
小学6年男子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
小学6年女子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
中学1年男子 1位 志賀健太郎 2位 橋田裕生 3位 小澤輝平
中学1年女子 1位 志賀健太郎 2位 橋田裕生 3位 小澤輝平
中学2年男子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学2年女子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学3年男子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学3年女子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学4年男子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学4年女子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学5年男子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学5年女子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学6年男子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学6年女子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実



【個人組手の部】

- 小学3年男子 1位 津野駿 2位 今宮下季 3位 津野夏季
小学3年女子 1位 津野夏季 2位 今宮下季 3位 津野駿
小学4年男子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
小学4年女子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
小学5年男子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
小学5年女子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
小学6年男子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
小学6年女子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
中学1年男子 1位 志賀健太郎 2位 橋田裕生 3位 小澤輝平
中学1年女子 1位 志賀健太郎 2位 橋田裕生 3位 小澤輝平
中学2年男子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学2年女子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学3年男子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学3年女子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学4年男子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学4年女子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学5年男子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学5年女子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学6年男子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学6年女子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実

- 小学3年男子 1位 津野駿 2位 今宮下季 3位 津野夏季
小学3年女子 1位 津野夏季 2位 今宮下季 3位 津野駿
小学4年男子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
小学4年女子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
小学5年男子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
小学5年女子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
小学6年男子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
小学6年女子 1位 香川未来 2位 近藤悠斗 3位 三谷晴香
中学1年男子 1位 志賀健太郎 2位 橋田裕生 3位 小澤輝平
中学1年女子 1位 志賀健太郎 2位 橋田裕生 3位 小澤輝平
中学2年男子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学2年女子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学3年男子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学3年女子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学4年男子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学4年女子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学5年男子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学5年女子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学6年男子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実
中学6年女子 1位 白石美虹 2位 松原香奈 3位 益千恵実

- 高校男子
1位 坂澤光一(高知)
一般女子
1位 川辺朝代(徳島)
一般男子
1位 山下道(徳島)

〔形の部〕

- 小学1・2年男子
1位 花園支部A(大阪)
2位 交野青山A(大阪)
3位 南大阪A(大阪)
- 小学3・4年男子
1位 大東支部A(大阪)
2位 宇治支部A(京都)
3位 花園支部A(大阪)
- 小学5・6年男子
1位 三井支部(大阪)
2位 大東支部A(大阪)
3位 交野支部(大阪)
- 中学男子
1位 交野青山A(大阪)
2位 鶴見支部(大阪)
3位 宇治支部A(京都)
- 小学1・2年女子
1位 大磯啓吾(京都)
2位 長瀬綾佑(大阪)
3位 西宮支部(大阪)
- 小学3年女子
1位 板倉優典(大阪)
2位 松井福平(大阪)
3位 櫻井寛充(兵庫)
- 小学4年女子
1位 ロクカケ晃啓(大阪)
2位 山本大輝(大阪)
3位 金ヶ崎智秀(京都)
- 小学5年女子
1位 橋本綾(大阪)
2位 板倉裕樹(大阪)
3位 野田大輝(大阪)
- 小学6年男子
1位 坂口悦史(大阪)
2位 谷本星華(京都)
3位 山口雄也(大阪)
- 小学3年男子
1位 馬場俊行(大阪)
2位 渡邊行起(兵庫)
3位 塚村和哉(大阪)
- 小学4年男子
1位 塚谷優太(大阪)
- 小学5年男子
1位 清水芳隆(大阪)
2位 五十嵐龍次(大阪)
3位 安在瑞太(大阪)
- 小学6年男子
1位 下芝祐貴(大阪)
2位 若切勝哉(大阪)
3位 小嶋雄也(京都)
- 一般男子
1位 松本宏平(大阪)
2位 菅田佳(滋賀)
3位 山崎大(大阪)
- 小学1年男子
1位 袖山響(大阪)
2位 後藤玄(兵庫)
3位 小島大輝(大阪)
- 小学2年男子
1位 大橋祐也(京都)
2位 坂口剛史(大阪)
3位 古川勇気(滋賀)
- 小学3年男子
1位 片山雄介(大阪)
2位 石津江草(京都)
3位 野島悠河(兵庫)
- 小学4年男子
1位 坂口直樹(大阪)
2位 林瑞樹(京都)
3位 岡澤志紀(京都)
- 小学5年男子
1位 櫻井徹大(兵庫)
2位 片山雄介(大阪)
3位 石津江草(京都)
- 小学6年男子
1位 櫻井徹大(兵庫)
2位 片山雄介(大阪)
3位 石津江草(京都)

中学3年男子

- 1位 村津匠(兵庫)
2位 若林浩佑(京都)
3位 田中康貴(京都)
- 一般男子
1位 手嶋謙介(兵庫)
2位 藤田裕輝(京)
3位 村上隆亮(京都)
- 小学1・2年女子
1位 廣瀬莉緒(大阪)
2位 福島舞(京都)
3位 工藤晴香(大阪)
- 小学3年女子
1位 青木美々(大阪)
2位 山本桃子(大阪)
3位 土井友穂乃(京都)
- 小学4年女子
1位 山口泉(大阪)
2位 杉山穂乃(京都)
3位 前田千星(大阪)
- 小学5年女子
1位 平尾美紗都(滋賀)
2位 長船美咲(大阪)
3位 瀧本佑加(大阪)
- 小学6年女子
1位 竹岡郷々(大阪)
2位 山本貴恵(大阪)
3位 津井みのり(大阪)
- 中学1年女子
1位 津井高子(大阪)
2位 福井里彩(滋)
3位 川中佑葉(大阪)
- 中学2年女子
1位 野路実咲(大阪)
2位 藤田美沙都(滋賀)
3位 中井静里奈(大阪)
- 中学3年女子
1位 松原美咲(大阪)
2位 高崎彩(兵)
3位 増田美穂(大阪)
- 小学1年男子
1位 片山翔美(大阪)
2位 田岡雅子(大阪)
3位 井上ひろこ(兵庫)
- 小学2年男子
1位 橋本理奈(大阪)
2位 米田彩(兵庫)
3位 宮元尚子(滋賀)
- 小学3年男子
1位 早川香葉(大阪)
2位 福島葵(京都)
3位 宮元尚子(滋賀)
- 小学4年男子
1位 早川香葉(大阪)
2位 福島葵(京都)
3位 宮元尚子(滋賀)
- 小学5年男子
1位 吉田しおり(大阪)
2位 清本奈奈(大)
3位 久保晴佳(京都)
- 小学6年男子
1位 野路愛美(大阪)
2位 五十嵐梨花(大阪)
3位 津田未玖(大阪)
- 一般男子
1位 山下侘代(大阪)
2位 木村美穂(大阪)
3位 高橋萌子(大阪)
- 小学1年女子
1位 英田産業A(京都)
2位 京都産業大学(京)
3位 草津支部(滋賀)
- 小学2年女子
1位 橋本直達(滋賀)
2位 片桐一樹(京都)
3位 福島大士(滋賀)
- 小学3年女子
1位 柴垣源太(大阪)
2位 吉田慎一郎(大阪)
3位 富阪泰洋(大阪)
- 小学4年女子
1位 安藤麻喜子(京都)
2位 今希(兵庫)
3位 岡崎ゆかり(兵庫)

〔組手の部〕

- 小学1・2年男子
1位 花園支部A(大阪)
2位 鶴見支部(大阪)
3位 東加吉川支部(兵庫)
- 小学3・4年男子
1位 西脇支部(兵庫)
2位 南大阪A(大阪)
3位 西脇支部A(兵庫)
- 小学5・6年男子
1位 西脇支部A(兵庫)
2位 三井支部A(大阪)
3位 花園支部A(大阪)
- 中学男子
1位 宇治支部A(京都)
2位 宇治支部B(京都)
3位 鶴見支部(大阪)
- 小学1・2年女子
1位 山本桃太郎(大阪)
2位 堀内雄統(大阪)
3位 堀内雄統(大阪)
- 小学3年女子
1位 長船美咲(大阪)
2位 田野江梨奈(兵庫)
3位 大前華奈(大阪)
- 小学4年女子
1位 野路実咲(大阪)
2位 藤田美沙都(滋賀)
3位 藤田美沙都(滋賀)
- 小学5年女子
1位 藤田美沙都(滋賀)
2位 藤田美沙都(滋賀)
3位 藤田美沙都(滋賀)
- 小学6年男子
1位 好田明日香(兵庫)
2位 田岡雅子(大阪)
3位 米田彩(兵庫)
- 小学3年男子
1位 岩本高也(大阪)
2位 若林浩佑(京都)
3位 若林浩佑(京都)
- 小学4年男子
1位 岩本高也(大阪)
2位 若林浩佑(京都)
3位 若林浩佑(京都)
- 小学5年男子
1位 岩本高也(大阪)
2位 若林浩佑(京都)
3位 若林浩佑(京都)
- 小学6年男子
1位 岩本高也(大阪)
2位 若林浩佑(京都)
3位 若林浩佑(京都)
- 小学1年女子
1位 花園支部A(大阪)
2位 西脇支部A(兵庫)
3位 西脇支部A(兵庫)
- 小学2年女子
1位 三井支部A(大阪)
2位 花園支部A(大阪)
3位 花園支部A(大阪)
- 小学3年女子
1位 宇治支部A(京都)
2位 宇治支部B(京都)
3位 鶴見支部(大阪)
- 小学4年女子
1位 山本桃太郎(大阪)
2位 堀内雄統(大阪)
3位 堀内雄統(大阪)
- 小学5年女子
1位 長船美咲(大阪)
2位 田野江梨奈(兵庫)
3位 大前華奈(大阪)
- 小学6年男子
1位 好田明日香(兵庫)
2位 田岡雅子(大阪)
3位 米田彩(兵庫)
- 小学3年男子
1位 岩本高也(大阪)
2位 若林浩佑(京都)
3位 若林浩佑(京都)
- 小学4年男子
1位 岩本高也(大阪)
2位 若林浩佑(京都)
3位 若林浩佑(京都)
- 小学5年男子
1位 岩本高也(大阪)
2位 若林浩佑(京都)
3位 若林浩佑(京都)
- 小学6年男子
1位 岩本高也(大阪)
2位 若林浩佑(京都)
3位 若林浩佑(京都)

- 小学1・2年男子
1位 若林浩佑(京都)
2位 若林浩佑(京都)
3位 若林浩佑(京都)
- 小学3年男子
1位 若林浩佑(京都)
2位 若林浩佑(京都)
3位 若林浩佑(京都)
- 小学4年男子
1位 若林浩佑(京都)
2位 若林浩佑(京都)
3位 若林浩佑(京都)
- 小学5年男子
1位 若林浩佑(京都)
2位 若林浩佑(京都)
3位 若林浩佑(京都)
- 小学6年男子
1位 若林浩佑(京都)
2位 若林浩佑(京都)
3位 若林浩佑(京都)
- 小学1年女子
1位 花園支部A(大阪)
2位 西脇支部A(兵庫)
3位 西脇支部A(兵庫)
- 小学2年女子
1位 三井支部A(大阪)
2位 花園支部A(大阪)
3位 花園支部A(大阪)
- 小学3年女子
1位 宇治支部A(京都)
2位 宇治支部B(京都)
3位 鶴見支部(大阪)
- 小学4年女子
1位 山本桃太郎(大阪)
2位 堀内雄統(大阪)
3位 堀内雄統(大阪)
- 小学5年女子
1位 長船美咲(大阪)
2位 田野江梨奈(兵庫)
3位 大前華奈(大阪)
- 小学6年男子
1位 好田明日香(兵庫)
2位 田岡雅子(大阪)
3位 米田彩(兵庫)
- 小学3年男子
1位 岩本高也(大阪)
2位 若林浩佑(京都)
3位 若林浩佑(京都)
- 小学4年男子
1位 岩本高也(大阪)
2位 若林浩佑(京都)
3位 若林浩佑(京都)
- 小学5年男子
1位 岩本高也(大阪)
2位 若林浩佑(京都)
3位 若林浩佑(京都)
- 小学6年男子
1位 岩本高也(大阪)
2位 若林浩佑(京都)
3位 若林浩佑(京都)

空手道に関する商品を

全国ネットでスピード配送致します。

空手衣の
YAMAGA

株式会社 山雅

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町17-14 福川ビル
TEL. 06-6768-2340(代) FAX. 06-6768-2351

8段

高橋俊介(師範会)
矢野健二(師範会)

大坂可治(師範会)

6段

GEORGE VANCE (岡崎)
新井悟 (総本部)
小山孝一(総本部)
鈴木尚登(総本部)
作本隆志(福岡)EDWARD LEUNG (カナダ)
DAVID PYKE (カナダ)
DENIS HOUDE (カナダ)
SARA GRIMES (アメリカ)
ANTHONY NAKAZAWA (アメリカ)PEDORO MARC CORDICE (アメリカ)
MARK TARRANT (アメリカ)
MARTIN VAUGHAN (アメリカ)

5段

猪俣和男(総本部)
DARRERA MESA RAFAEL (ドイツ)
GLASS JOACHIM (ドイツ)
HERMINGHAUS DIETER (ドイツ)
ROEUNG SOMANTHA (ドイツ)
MAGDY EZZAT AL HALWAGY (エジプト)
LOIS LUZI (アメリカ)
HOWARD FRYDMAN (アメリカ)
GORDON ROYFFE (南アフリカ)
WENDY ANN WANNENBURG (南アフリカ)ROBERT SCHMIDT (南アフリカ)
CHRISTEZZE CAUVIN (南アフリカ)
CARON HARRIS (南アフリカ)
ABU ZAID AL NOUR MATAR (サウジ)
MUTASEM AHMED ABD-ALLAH AHMED (サウジ)
ADAMOS VASSILIOU (キプロス)
PETROS MICHALIDES (キプロス)
NAJMEDDIN AL HADAD (カナダ)
ANTHONY DECAPRIO (アメリカ)
AVELLANEDA OSCAR (カナダ)HIROSHI MAEDA (カナダ)
JAMES S. YOUNG (アメリカ)
MARILYN TRESSEL (アメリカ)
NOEL SANTELLA (アメリカ)
MICHAEL KEOHANE (アイルランド)
DHAWAN NEERAJ (インド)
BERTRAND AXEL (ベルギー)
ANDY ALLEN (カナダ)
JANICE PYKE (カナダ)
HECTOR SUAREZ ONTIVEROS (メキシコ)

4段

小出智(長野)
上川原勉(新潟)伊星建蔵(福岡)
渡邊保男(神奈川)小川昌治(東北地区)
高橋大起(東北地区)

武曾由英(東北地区)

3段

青木麗子(総本部)
加藤木恵(総本部)
山下桂一(総本部)
内山和俊(東京)
近西のみ子(東京)
岩瀬直行(東京)
内藤雄太(神奈川)
小西浩之(愛媛)
柚山尚之(愛媛)吉長光紀(京都)
坂野嘉信(兵庫)
秋葉真悟(青森)
伊星建蔵(福岡)
フレディエラソ(埼玉)
佐久間愛子(埼玉)
影沢秀徳(埼玉)
作左部昇(秋田)
山崎茂実(長野)西桐幸治(三重)
廣里稔暢(三重)
端山正悟(総本部)
佐藤順子(千葉)
仲義克(千葉)
佐藤寿泰(千葉)
里吉国彦(千葉)
塩谷敏之(静岡)
石川法人(茨城)菊池正(秋田)
武良英明(北海道)
藤井悠詞(北海道)
岡本拓也(北海道)
成島操(神奈川)
渡邊保男(神奈川)
甲斐田匡彦(愛知)
菊地貞一(東北地区)

<投稿歓迎>

全国の会員の皆様の投稿をお待ちしています。支部・道場の行事の様態などの「原稿・写真」をお気軽に寄ってください。投稿原稿は800字以内。ワープロ、パソコン(FD)、原稿用紙でお願いします。なお投稿いただいた原稿等は原則として返却いたしませんのでご注意ください。

ホームページ、電子メールもご利用ください。詳細はお問い合わせください。

●宛先 〒112-0004 東京都文京区後楽2-23-15 日本空手協会総本部「JKAニュース」係
TEL.03-5800-3091(担当・大隈)●ホームページ <http://www.jka.or.jp> ●電子メール sohonbu@jka.or.jp

※JKA NEWSをホームページからPDFでも閲覧できます。

<各地区編集委員>

北海道地区
東北地区
関東地区
北信越地区
東海地区
近畿地区
九州地区網谷貞幸 TEL/FAX 011-832-1182
佐藤範明 TEL/FAX 022-285-3209
瀬戸謙介 TEL 03-3714-6469 FAX 03-3714-4093
大日方俊夫 TEL 026-244-2659 026-234-5064 FAX 026-244-4170
池山正仁 TEL 052-351-7300 FAX 052-355-3557
小島弘己 TEL/FAX 0720-75-0295
鶴田敏昭 TEL 092-661-0500 FAX 092-661-0504

<次号「2007年27号」は1月発行の予定です>

協会の型を完全網羅!

空手道型教本 絶賛発売中

- | | |
|------------------------------|-----------|
| 第1巻 平安初段・弐段・参段・四段・五段、鉄騎初段 | 2000円(税込) |
| 第2巻 抜塞(大)、観空(大)、慈恩、燕飛 | 3000円(税込) |
| 第3巻 岩鶴、十手、半月、鉄騎弐段・参段 | 3000円(税込) |
| 第4巻 抜塞(小)、観空(小)、壮鎮、二十四歩、雲手 | 3000円(税込) |
| 第5巻 王冠、五十四歩(大)、五十四歩(小)、明鏡、珍手 | 3000円(税込) |

発行●日本空手協会・師範会 03(5800)3091

(社)日本空手協会指定 審判用スラックス

フータック ポリエステル100%
ウエスト73~88cm
¥7100(税込)
ウエスト91~110cm
¥7400(税込)(サイズは3cm刻み、裾上げは
ご自身でお願いします)送料(1~9本) ¥800
10本以上無料

問い合わせ先 (株)東海堂 03-3262-0281